

令和4年度 文部科学省  
「地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進」委託事業

# 春日井市における 民間団体との連携協働による 障害者生涯学習プログラムの開発 〔報告書〕



KASUGAI  
インクルーシブアートキャラバン



私だけのショー（書）タイム



春日井市ドリームサッカーフェスティバル

令和5年3月

NPO法人春日井子どもサポートKIDS COLOR

春日井市・春日井市教育委員会

## ごあいさつ

NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR

理事長 志村 美和

春日井市と私共春日井子どもサポート KIDS COLOR が連携協働して行う、文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」委託事業2年目の取り組みを無事終えることができました。事業に関わってくださった皆様方に深く感謝を申し上げます。

本事業では、障害のある人も皆と同じように趣味や好きな事を見つけ、そこで出会う人たちと共に学びあい、語り合い、楽しむことができる居場所が当たり前にある社会を目指して様々な研究事業を行いました。

KIDS COLOR は元々障害がある、又はその可能性がある子どもの支援に関する活動を行っている団体です。本事業を通して、子どもたちがそれぞれ持つ価値を高め、いきいきと生活できる社会を春日井市行政と共に創造していけることを期待しています。

最後になりましたが、ここに令和4年度文部科学省委託事業の全事業内容のご報告をさせていただきます。この報告書が多くの皆様に触れ、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

## ごあいさつ

春日井市長 石 黒 直 樹

「春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発」は、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」として令和3年度に引き続き採択され、NPO法人春日井子どもサポート KIDS COLORの皆様をはじめ特別支援学校、関係団体等のご尽力のもと、多くの方のご参加を賜り、実施することができました。

本事業は、障がいのある人の「学びたい」という気持ちに寄り添いながら、学ぶ楽しさを実感でき、学びを通じて仲間と交流できる環境づくりを目指す取組です。本年度は、新たな取組として、障がいのある人を対象に「書」の体験講座を開催いたしました。これまで「書のまち春日井」として実施した各種事業から培った経験等を生かし、参加された皆さんには「書」の楽しさを体験していただく機会となりました。

様々な立場から知恵を出し合い、得意なものを持ち寄って協力できることは多様な主体が連携する事業の強みであり、本事業を通じて、障がいのある人にも利用しやすい「学び」の場づくり、そしてだれもが自分らしく学び、いきいきと暮らせるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

本市では、福祉の分野では「第5次春日井市障がい者総合福祉計画」を、生涯学習の分野では「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定し、それぞれの計画に掲げる基本理念や目標を目指し、取組を展開しております。この2つの計画には、ともに障がい者の生涯学習に関する項目を挙げており、引き続き各種事業を推進してまいりますので、各分野の関係者の皆様方におかれましては、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の推進にあたり、各種講座や「地域共生社会を目指す障害者の生涯学習プログラム開発・推進コンファレンス in 春日井」など関連事業の開催のためにご尽力いただきました実行委員会や事務局、関係団体等の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

# 春日井市における民間団体との連携協働による 障害者生涯学習プログラムの開発 報告書

## 目 次

### ごあいさつ

NPO法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 理事長 志村 美和	1
春日井市長 石黒 直樹	2
目次	3
1. 事業計画	5
2. 事業実施日程一覧	7
3. 連携協議会	8
学習プログラムの開発	17
4. 障害者の生涯学習実践研究講座	19
5. 文化・スポーツ講座	37
6. 視察研修	57
コンファレンス事業	69
7. コンファレンス	71
8. コンファレンスアンケート調査結果	91
9. 総括	98
編集後記	100





## 1. 事業計画

NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR（以下、KIDS COLOR）は、令和4年度文部科学省の学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業において、「春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発 Part.2」という事業名で応募し、令和4年5月30日に委託契約を締結し、事業を進めてきた。

以下、文部科学省に提出、採択された「企画提案書」（抜粋）である。

### (1) 本事業推進担当者及び事務局

本事業主催団体は、NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR、行政担当を春日井市文化・生涯学習課とする。

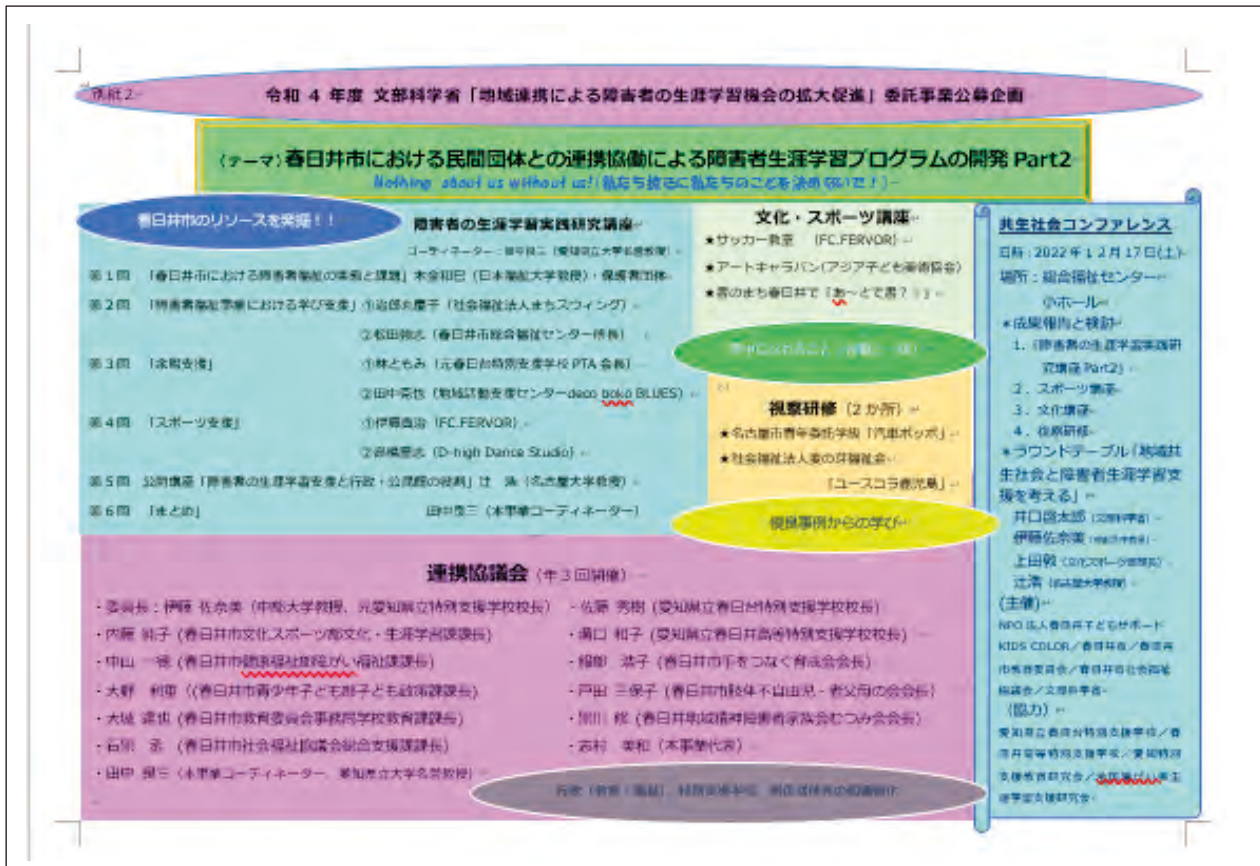
氏名	所属・役職等	備考欄
志村 美和	NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 理事長	主催者・事務局長
田中 良三	愛知県立大学名誉教授	コーディネーター
田中 芳樹	春日井市文化・生涯学習課課長	行政事務局
伊藤 英彦	春日井市文化・生涯学習課課長補佐	行政事務局
若杉 尚代	春日井市文化・生涯学習課	行政事務局
丹羽 千穂	NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 会計	事業会計
伊藤 佐奈美	中部大学教授	連携協議会委員長
堀部 要子	名古屋女子大学准教授	事務局
寺谷 直輝	大同大学他非常勤講師	事務局

### (2) 連携協議会

本事業を遂行するために、行政職員管理職、特別支援学校、保護者団体からなる連携協議会を置く。

氏名	所属・役職等	備考欄
志村 美和	春日井子どもサポート KIDS COLOR	主催者
田中 良三	愛知県立大学名誉教授	コーディネーター
伊藤 佐奈美	中部大学現代教育学部教授	委員長
田中 芳樹	春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課課長	
中山 一徳	春日井市健康福祉部障がい福祉課課長	
大野 利重	春日井市青少年子ども部子ども政策課課長	
大城 達也	春日井市教育委員会事務局学校教育課課長	
石黒 丞	春日井市社会福祉協議会総合支援課課長	
安藤 和義	愛知県立春日台特別支援学校校長	
溝口 和子	愛知県立春日井高等特別支援学校校長	
戸田 三保子	春日井市肢体不自由児・者父母の会副会長	
服部 浩子	春日井市手をつなぐ育成会会長	
黒川 修	春日井市精神障害家族会むつみ会会長	

(3) 事業の全体像



(4) 事業内容

委託事業2年目は、1年目と同様に①障害者の生涯学習実践研究講座 Part.2、②文化・スポーツ講座、③視察研修、④コンファレンスを大きな柱とした。

- ① 障害者の生涯学習実践研究講座 Part.2 では、今年度も対象者を行政職員、福祉事業所職員、保護者団体、等とした。全6日間の講座とし、昨年度は乳幼児期から青年期、就労までのライフステージに沿った支援についての実践報告を中心としたが、今年度は、春日井市内で障害のある人たちの支援を行っている福祉事業所や同窓会、福祉施設やスポーツなどの取り組みを生涯学習の視点から実践報告をしてもらい受講者たちが議論を深めた。
- ② 文化・スポーツ講座では、今年度から文化講座を取り入れ、『春日井インクルーシブアートキャラバン』を中部大学で、「私だけの書TIME」を公民館で、「春日井ドリームサッカーフェスティバル」を民間スポーツ団体グラウンド、で実施した。また、アートとサッカーでは、学生ボランティアの協力を得た。
- ③ 視察研修は、鹿児島県の社会福祉法人麦の芽福祉会ユーススコラ鹿児島、名古屋市青年委託学級自動車ポッポ、福祉型専攻科ジョイアスクールつなぎで行った。
- ④ 事業の成果報告会として、「地域共生社会を目指す障害者生涯学習プログラム開発・推進コンファレンス in 春日井」を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催した。

## 2. 事業実施日程一覧

	連携協議会 * 事務局会	実践研究講座	文化・スポーツ 講座	視察研修	その他
4月	事務局員、連携協議会委員等、 団体の組織化	実践研究講座の講師選 定、及び内容打ち合わせ	文化・スポーツ講座の講 師選定、及び内容打ち合 わせ		
5月		実践研究講座の準備	スポーツ講座の打ち合わせ		本事業開始 (5/30)
6月	* 第1回事務局会 (6/25)	実践研究講座冊子完成			
7月	第1回連携協議会 (7/7)	第1回 (7/28)	春日井インクルーシブ アートキャラバン①② (7/2, 16)		
8月	* 第2回事務局会 (8/27)	第2回 (8/12) 第3回 (8/24)	私だけの書TIME① ②③(8/7, 14, 21)		文科省連絡会議 (8/5)
9月	* 第3回事務局会 (9/24)	第4回 (9/9) 第5回 (9/28)			
10月	第2回連携協議会 (10/27)	第6回 (10/12)	春日井ドリームサッカー フェスティバル①② (10/9, 23)	ユーススコラ鹿児島 (10/18, 19)	
11月				ジョイアススクール つなぎ (11/6, 7) 名古屋市瑞穂青年委託 学級 (11/20)	
12月			春日井ドリームサッカー フェスティバル③ (12/11)		
「地域共生社会を目指す障害者の生涯学習プログラム開発・推進コンファレンス in春日井」(12/17)					
1月	* 第4回事務局会 (1/9) 第3回連携協議会 (1/19)				報告集の作成開始 来年度に向け打 合わせ
2月	* 第5回事務局会 (2/25)				報告集発送作業 来年度に向け打 合わせ
3月					文科省連絡会 (3/3) 事業終了 (3/10) 来年度に向け打 合わせ

### 3. 連携協議会

行政、学校、大学、当事者団体から委員を選出し、連携協議会を構成した。

#### 文部科学省委託事業・NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 連携協議会 規約

##### 第1条（名称）

この会は、文部科学省委託事業・NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR 連携協議会という。

##### 第2条（目的）

この会は、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業『地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進』」するための趣旨に基づいて設置し、NPO 法人春日井子どもサポート KIDS COLOR の委託事業を円滑に推進することを目的とする。

##### 第3条（活動）

この会は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- ①春日井市において、障害者の生涯学習について民間団体等と組織的に連携し、公民館等の社会教育施設をはじめ関係機関において、障害当事者のニーズや地域資源を踏まえた「生涯学習プログラム」を開発・実施し、その成果の普及・活用を目指す本事業全体にわたる進行管理を行う。
- ②本事業において、障害者の自立や社会参加・就労等に関わる具体的なデータ・調査結果・事例等のエビデンスに基づく事業成果の分析・検証等を行い、成果報告書としてとりまとめる。
- ③効果的な検討に資する観点から、協議会の構成員は、先進的な優良事例を視察する。
- ④連携協議会を、年間3回程度開催する。

##### 第4条（構成員）

1. 本会は、委員と事務局員から構成する。
2. 委員は、本事業に関係する、春日井市の関係部局、特別支援学校・大学等学校及び福祉・労働・医療団体等の関係者によって構成する。
3. 事務局員は、NPO法人春日井子どもサポートKIDS COLORの職員および本事業の関係者によって構成し、実務を担う。

##### 第5条（財政）

委員会出席や視察研修参加等については、謝金及び交通費等を支払うものとする。

##### 第6条（事務所）

会の事務所は、NPO法人春日井子どもサポートKIDS COLOR(〒480-0304 春日井市神屋町1759-1 電話 0568-88-6873又は090-4163-4365 )に置く。

##### 第7条（附則）

この規約は2021年6月17日より施行する。

## 連携協議会委員一覧

氏名	所属・役職等	備考欄
安藤 和義	春日台特別支援学校校長	
石黒 丞	春日井市社会福祉協議会総合支援課課長	
伊藤 佐奈美	中部大学現代教育学部教授	(委員長)
大城 達也	春日井市教育委員会事務局学校教育課課長	
大野 利重	春日井市青少年子ども部子ども政策課課長	
黒川 修	春日井市精神障害家族会むつみ会会長	
志村 美和	NPO 法人春日井子どもサポート KIDSCOLOR 幼保連携型認定こども園柏井保育園 保育教諭 中京学院大学短期大学部保育科 非常勤講師	本事業代表
田中 良三	愛知県立大学名誉教授 名古屋大学非常勤講師	コーディネーター
田中 芳樹	春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課課長	行政事務局
戸田 三保子	春日井市肢体不自由児・者父母の会副会長	
中山 一徳	春日井市健康福祉部障がい福祉課課長	
服部 浩子	春日井市手をつなぐ育成会会長	
溝口 和子	春日井高等特別支援学校校長	

## 第1回連携協議会

## 議事次第

1. 日時 令和4年7月7日(木) 10:00～12:00
2. 場所 春日井市役所11階 1102会議室
3. 議事
  - (1) 文部科学省の障害者生涯学習支援政策と本事業
  - (2) 連携協議会規約
  - (3) 連携協議会委員一覧
  - (4) 事業計画
  - (5) 連携協議会委員の役割
  - (6) 今後の日程
  - (7) その他
4. 配布資料
  - 資料1 文部科学省の障害者生涯学習支援政策
  - 資料2 連携協議会規約
  - 資料3 連携協議会委員等一覧表
  - 資料4 文部科学省採択「企画書」





資料5 連携協議会委員の役割

資料6 今後の日程

\*連携協議会委員および事務局員は、「コンファレンス」の実行委員を兼ねます。

(担当)

電話及びFAX：(0568) 88-6873 携帯：090-4163-4365 (志村)

Eメール：kpnq908 yahoo.co.jp

## 議事録

日 時 令和4年7月7日(木) 10時00分～11時30分

場 所 春日井市役所(11階) 1102会議室

出席者 石黒丞、伊藤佐奈美、大城達也、志村美和、田中芳樹、田中良三、戸田三保子、清水栄司  
(中山一徳代理)、服部浩子、溝口和子

欠席者 安藤和義、大野利重、黒川修

議題に先立ち、本事業代表である志村委員が挨拶した。資料を確認し、報告書の作成に向けて会議の記録写真に残すことについて、各委員の承諾を得た。

次に、第1回連携協議会であるため、連携協議会委員及び事務局員の自己紹介を行った。

連携協議会・伊藤委員長の進行により、議事を行った。

### 議題

議題(1) 文部科学省の障害者生涯学習支援政策と本事業について

資料1について、志村委員及び田中(良)委員から提案し、了承された。

事業の概要、政策の経緯等について説明した。

議題(2) 連携協議会規約について

議題(3) 連携協議会委員一覧について

資料2及び資料3について、志村委員から提案し、了承された。

関連する内容であるため、議題(2)及び議題(3)について併せて説明した。

資料3の記載から役職等が変更となっている委員から、修正の発言があった。

議題(4) 事業計画について

資料4について、志村委員から提案し、了承された。

今年度の委託事業の概要について説明した。

開催日程の都合上、一部事業を連携協議会の前に開催、または開催準備を進めていることを説明し、理解を求めた。

伊藤委員長から、「障害者の生涯学習実践研究講座」の定員等について質問があり、受講者同士の離隔を考慮して30名程度を想定していること、会議時点で10数名の応募があることを説明した。



大城委員から、小中学校の教員が受講できない時間帯であるため、オンライン配信は可能かとの質問があった。伊藤委員長から、映像のオンデマンド配信であれば可能ではないかとの提案があり、検討することを説明した。

視察研修について、日程等が決まったら各委員へ案内することを志村委員から説明し、参加いただくよう依頼した。

#### 議題（５） 連携協議会委員の役割について

資料５について、志村委員から提案し、了承された。

各委員がそれぞれの役割のなかでこの事業に臨み、持ち場に戻ったとき、この事業の課題について何ができるかを話し合ってもらいたいなど、資料５の５ページの記載事項を強調しつつ説明した。

#### 議題（６） 今後の日程について

資料６について、志村委員から提案し、了承された。

委員の連携協議会事業への参加等について協力を依頼した。

#### 議題（７） その他について

参考資料として配付した、文部科学省の冊子「障害者の生涯学習支援入門ガイド・事例集」について、志村委員から説明した。

## 配布資料

資料１ 文部科学省の障害者生涯学習支援推進政策と本事業

資料２ 連携協議会規約

資料３ 連携協議会の構成員

資料４ 企画書

別紙 障害者の生涯学習実践研究講座

第２回 障害者の生涯学習実践研究講座(2022)プログラム

K A S U G A I インクルーシブアートキャラバン

私だけの書(ショー)タイム

資料５ 連携協議会委員の役割

資料６ 今後の日程

参考資料 障害者の生涯学習支援入門ガイド・事例集

この議事録は、春日井市文化・生涯学習課が作成し、本事業代表である志村委員が確認した。

※ 資料３の修正箇所

氏名	修正前	修正後
田中良三	愛知みずほ短期大学特任教授	名古屋大学非常勤講師
戸田三保子	会長	副会長
安藤志津子		※ 転勤に伴い事務局構成員から抹消

## 第2回連携協議会

### 議事次第

1. 日時 令和4年10月27日(木) 10:00～12:00
2. 場所 春日井市役所10階 1002会議室
3. 議事
  - (1) 「障害者の生涯学習実践研究講座（全6回）報告
  - (2) 「文化・スポーツ講座」報告
    - ① 「春日井インクルーシブアートキャラバン」
    - ② 「私だけの『書』ショータイム」
    - ③ 「春日井ドリームサッカーフェスティバル」
  - (3) 視察研修報告
  - (4) コンファレンスの実施に向けて
  - (5) 今後の課題と日程
  - (6) その他



4. 配布資料
  - 資料1 「障害者の生涯学習実践研究講座（全6回）」
  - 資料2 「春日井インクルーシブアートキャラバン」、 「私だけの『書』ショータイム」
  - 資料3 コンファレンス
  - 資料4 今後の課題と日程

\* 連携協議会委員および事務局員は、「コンファレンス」の実行委員を兼ねます。

### 議事録

- 日時 令和4年10月27日(木) 10時00分～12時00分
- 場所 春日井市役所(10階) 1002会議室
- 出席者 安藤和義、石黒丞、伊藤佐奈美、大城達也、大野利重、志村美和、田中芳樹、田中良三、戸田三保子、清水栄司(中山一徳代理)、服部浩子、溝口和子、伊藤貴治(スポーツ講座講師)
- 欠席者 黒川修

議題に先立ち、本事業代表である志村委員が挨拶した。

事務局から資料確認を行い、報告書の作成に向けて、会議の記録のため写真撮影、録音を行うことについて、各委員の了承を得た。

連携協議会・伊藤（佐）委員長の進行により、議事を行った。

## 議題

### 議題（１） 「障害者の生涯学習実践研究講座（全６回）」報告

資料１にもとづいて、志村委員から事業の結果が報告された。

講座の日程、実施内容、結果のまとめ、課題等について説明があった。

### 議題（２） 「文化・スポーツ講座」報告

資料２にもとづいて、志村委員から事業の結果が報告された。

開講の際の様子、受講者の特性等に合わせて対応した事項、受講者アンケートの意見、課題等について説明があった。

サッカー講座について、伊藤（貴）講師から報告があった。

伊藤（佐）委員長から、受講者を募集する段階で注意すべき受講者の特性等の情報を把握しておく必要があるとの意見があった。

### 議題（３） 視察研修報告

田中（良）委員から、ユーススコラ鹿児島（鹿児島市）での視察の結果が報告された。

福祉事業所でありながら学校のように造られた建物、学生が楽しそうに学んでいた様子等について説明があった。

同じく視察研修に参加した伊藤（佐）委員長と事務局員から、視察を通して考えたことなどの説明があった。

田中（良）委員から、11月に予定されている名古屋市での視察研修についても説明があった。

### 議題（４） コンファレンスの実施に向けて

資料３にもとづいて、志村委員から事業の概要、連携協議会の委員がコンファレンスの実行委員を兼ねること等について説明があり、了承された。

服部委員から、委員は参加申し込みをする必要はないかとの質問があり、委員は参加申し込みの必要はないと志村委員が回答した。

### 議題（５） 今後の課題と日程

資料４にもとづいて、志村委員から説明があり、今年度の残りの予定、来年度に向けた予定について了承された。

次年度の講座について、特別支援学校へ講師を派遣し、授業に位置づけてダンス講座を行うことを説明し、安藤委員、溝口委員からは受け入れに向けて考えていることや期待について発言があった。

文部科学省委託事業の終了後の課題等について、志村委員から意見を求めたが十分に議論できなかったため、継続して検討することとした。

### 議題（６） その他

伊藤（佐）委員長が各委員に発言を促し、各委員が事業に対する思いや、それぞれの立場からの意見を述べた。

## 配布資料

- 資料1 障害者の生涯学習実践研究講座
- 資料2 文化講座2022 春日井インクルーシブアートキャラバン、私だけの『書』ショータイム
- 資料3 地域共生社会を目指す障害者の生涯学習プログラム開発・推進コンファレンスin春日井(チラシ)
- 資料4 今後の課題と日程

この議事録は、春日井市文化・生涯学習課が作成し、本事業代表である志村委員が確認した。

## 第3回連携協議会

### 議事次第

1. 日時 令和5年1月19日(木) 10:00～12:00
2. 場所 春日井市役所8階 802会議室
3. 議事
  - (1) 「スポーツ講座」報告
    - ・春日井ドリームサッカーフェスティバル
  - (2) 「視察研修」報告
    - ・名古屋市委託青年学級『汽車ポッポ』
  - (3) 「コンファレンス」報告
    - ・アンケート結果報告
  - (4) 報告書編集(案)について
  - (5) 次年度の連携協議会の追加委員について
    - ・名古屋大学教授 辻浩氏
    - ・地域福祉課課長 長坂匡哲氏
    - ・保護者団体「桃山会」会長 中村優子氏
4. 配布資料
  - 資料1 コンファレンスプログラム集
  - 資料2 コンファレンスアンケート結果
  - 資料3 報告書編集(案)



\* 今年度の委託事業契約終了日 2023年3月10日 令和5年度委託事業契約日 2023年6月頃

## 議事録

日 時 令和5年1月19日(木) 10時00分～12時00分  
場 所 春日井市役所(8階) 802会議室  
出席者 石黒丞、仲野高弘(大城達也代理)、大野利重、田中芳樹、田中良三、戸田三保子、清水栄司(中山一徳代理)、服部浩子  
伊藤貴治(スポーツ講座講師)  
欠席者 安藤和義、伊藤佐奈美、黒川修、志村美和、溝口和子

議題に先立ち、本事業コーディネーターである田中(良)委員が挨拶した。

事務局から資料確認を行い、報告書の作成に向けて、会議の記録のため写真撮影、録音を行うことについて、各委員の了承を得た。

田中(良)委員の進行により、議事を行った。

### 議題

#### 議題(1) 「スポーツ講座」報告

サッカー講座「春日井ドリームサッカーフェスティバル」の実施結果について、伊藤(貴)講師から報告された。

今後、中部大学の伊藤佐奈美教授のゼミと連携していく申し合わせをしたこと、春日井市高等特別支援学校の部活動に外部コーチとして参加したことが併せて説明された。

#### 議題(2) 「視察研修」報告

名古屋市委託青年学級「汽車ポッポ」での視察研修の結果について、田中(良)委員から報告された。

視察に参加した服部委員から、障がい者が運営に参加していることに驚いたとの感想があった。

大野委員から、視察に参加した所属職員の「大切な気付きを得ることができ有益だった」との感想が報告された。

視察に参加した事務局員から、参加者にとってポッチャの「おたより」が届くことが楽しみになっており、参加意欲の向上の効果が認められ、デジタルよりも有効ではないかななどの意見があった。

#### 議題(3) 「コンファレンス」報告

資料1にもとづいて、田中(良)委員から事業の結果が報告された。

また、資料2にもとづいて、事務局から参加者アンケートの結果について報告された。

#### 議題(4) 報告書編集(案)について

資料3にもとづいて、田中(良)委員から今年度事業の報告書の構成案について説明があり、了承された。

議題（5） 次年度の連携協議会の追加委員について

次年度の連携協議会に新たに次の委員3名を迎えることについて、田中（良）委員から説明があり、了承された。

名古屋大学教授	辻 浩 氏
春日井市地域福祉課課長	長坂 匡哲 氏
保護者団体「桃山会」会長	中村 優子 氏

議題（6） その他

戸田委員から、障がい者の「本人会」についての意見があった。

ご家族が名古屋市の会に所属されていること、水族館の見学等の月1回の活動や会員同士での年賀状のやりとりなどを楽しみにされていること、以前は春日井市にも本人会があったこと等について説明された。

本連携協議会の事業は本人会や青年学級につながるものであり、ボランティアなど活動を支援する人が必要となるが、春日井市にもこのような会があると良いとの希望を話された。

## 配布資料

- 資料1 コンファレンスプログラム集
- 資料2 コンファレンスアンケート結果
- 資料3 報告書編集(案)

この議事録は、春日井市文化・生涯学習課が作成し、本事業の代表である志村委員及びコーディネーターである田中（良）委員が確認した。

◇ 学習プログラムの開発 ◇

「障害者の生涯学習実践研究講座」

「文化・スポーツ講座」

「視察研修」





## 4. 障害者の生涯学習実践研究講座（2022）

### I. はじめに

本講座は、令和4年度文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」委託事業の『春日井市における民間との協働による障害者生涯学習プログラムの開発』の一環として実施した。「障害者の生涯学習」についての理解を図るために、講座受講対象を行政職員中心とし、福祉事業所や保護者等と一緒に学ぶことを目的とした。令和3年度に第1回の障害者の生涯学習実践研究講座を行い、そこでは障害のある人のライフステージに沿った支援について学び、今年度は春日井市で障害福祉事業に取り組んでいるところについて生涯学習の視点から学びを深める講座とした。

### II. 講座の概要

<日 程> 7月28日～10月12日までの6日間 10時～12時

<場 所> 総合福祉センター小ホール及び大ホール

<受講者> 春日井市行政職員（公民館・ふれあいセンター職員、社会福祉協議会職員を含む）、障害者福祉事業所等職員、保護者、一般（KIDS COLOR 会員）全日で延べ199名。

（内訳）

春日井市役所職員	13名
公民館・ふれあいセンター等職員	15名
社会福祉協議会職員	6名
福祉事業所（放課後デイを含む）	15名
保護者団体	4名
KIDS COLOR	6名
その他	7名



\*第3回には、deco boko BLUES の利用者（当事者及び職員）が8名参加した。

<講座方法> 講話（1時間）→休憩（5分）→グループワーク（30分）→質疑応答（15分）  
→コーディネーターのまとめ（10分）。

受講者には、全回分を1冊にまとめた冊子（『文部科学省：令和4年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業「春日井市における民間との協働による障害者生涯学習プログラムの開発」第2回 障害者の生涯学習実践研究講座(2022)プログラム集』）を配布した。ここでは、文部科学省：有識者会議の『報告書』を資料として掲載した。